文学会共催フランス語圏文化学科主催特別講演

バンド・デシネを翻訳するということ

2024年 11月 27日（水）

17:30～

「第9の芸術」の魅力と翻訳の現場

フランス語圏には「バンド・デシネ（ＢＤ）」と呼ばれる漫画文化が存在し、９番目の芸術として認識されています。
フランス語圏文化学科では、日本におけるバンド・デシネ翻訳の第一人者である原正人氏をお招きし、バンド・デシネの魅力とともに、翻訳者デビューの経緯、企画の成立から翻訳の実務や出版後のことなど、翻訳の裏側についてお話しいただきます。

- 場所：中央教育研究棟３階303教室
- 日時：2024年11月27日 17:30～
- 予約不要・入場無料
- 問合わせ：文学部フランス語圏文化学科
  ※HP (http://fr-gakushuin.jp) のメールフォームから

講演者　原 正人 氏

1974年静岡県生まれ。2004年に学習院大学大学院人文科学研究科フランス文学専攻博士前期課程修了。その後、フランス語圏のマンガ“バンド・デシネ”に興味を抱き、2008年に『ユーロマンガ』で翻訳者としてデビュー。以後、精力的にバンド・デシネを翻訳紹介して今に至る。トニー・ヴァレント『ラディアン』、ルノー・ルメール『ドリームランド』、ダヴィッド・プリュドム『レベティコ―雑草の歌』、ロラン・オプマン作、ルノー・ロッシュ画『ルーカス・ウォーズ』など訳書多数。